

平成25年度

なはしの よさんの はなし

平成25年 ○月×日(△)



那覇市

『なはしのよさんのはなし』 について



ハイサイ！（こんにちは！）

地方公共団体の予算書は、分厚く、数字だらけで、とっつきにくいといわれています。

那覇市の予算書「那覇市一般会計予算及び予算に関する説明書」は、200ページ以上にわたり、「歳入予算」や「歳出予算」が、款、項、目という区分により表示されています。予算書の内容は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然とならんでいて、市民のみなさんには少々わかりづらくなっています。

「市民との協働のまちづくり」を実践していくためには、市民のみなさんに那覇市の予算を知っていただくことが大切であると考えています。

地方財政を取り巻く環境が益々厳しさを増すなかで、「那覇市の予算」がどうなっているのかを、市民のみなさんにわかりやすくお知らせするために、「なはしのよさんのはなし」を作成しました。

「なはしのよさんのはなし」は、平成25年度的那覇市の予算について、できるだけ簡潔に表現するよう心がけました。

本冊子によって、市民のみなさんが那覇市の予算に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

ユタサルグトゥ ウニゲー サビラ。（よろしく お願いします。）

企画財務部 財政課

※那覇市では、平成24年度から沖縄の伝統文化の継承発展を目的として、「ハイサイ運動」（沖縄固有のことは・ウチナーグチによるあいさつの推奨、等）を推進しています。

わたくし
シーサーの
シシ先生がお手伝い
しますよ



CONTENTS（目次）

「なはしのよさんのはなし」について	1
●基礎知識編	
予算とは？ 予算の決め方は？ 予算の変更は？	2
予算のその後？ 予算の規模は？	3
予算の必要なわけは？	4
市民一人当たり行政経費及び市税負担額（一般会計）	
●収入編	5
●支出編	9
●平成25年度予算の考え方	13
●はじめていやーさい！ 中核市なは	14
●平成25年度予算の主要事業	16
●資料編	27

基礎知識編

予算についてのいろいろな「おしえて！」についてお答えします。

予算とは？



予算ってなんだろう？ おしえて！



予算とは、1年度間（4月から翌年の3月まで）の収入（入ってくるお金）と支出（使うお金）を前もって見積もることです。

那覇市では、新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのぐらいの収入があるのか？そしてその1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。那覇市の予算書には、これからの1年間のお金の使いみちが記されています。

市役所等の行政機関では、4月から翌年の3月までの1年間を年度といいます。

予算の決め方は？



どうやって那覇市の予算を決めるの？ おしえて！



市長が予算案をつくります。そして、市議会の審議と議決によって成立します。

那覇市役所のそれぞれの担当部局は、市民のみなさんの意見や要望を聴き、「向こう1年間の行政サービス」を検討します。市長は、各担当部局の案を自分の考えにそって予算案をまとめ、市議会に提案します。

市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで市議会の議決により予算を決めます。

予算の変更は？



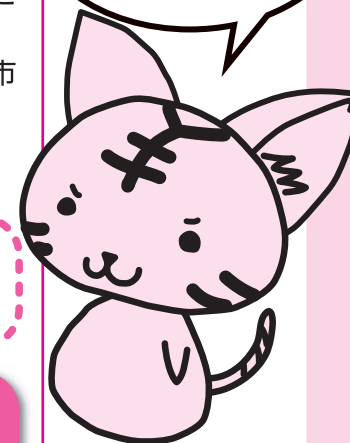
一度決めた予算は、変えることはないの？ おしえて！



変えることがあります。補正予算といいます。

市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

基本は大切
ですニャ！



予算のその後は？



予算を使ったあとは？ おしえて！



その年度の予算の収支の結果を決算書として作成し、報告します。

入ってくる予定のお金とそのお金の使いみちが予算でした。その予算を使った結果を決算といいます。決算では、1年間に予算の範囲内で行政サービスを行った結果をあらわしています。つまり、新しい年度が始まる前に決めた予算とその後の補正予算で見積もった収入と支出の結果(入ってきたお金と使ったお金)が決算です。決算書は会計管理者がつくり、市長が市議会の認定を受けることになります。

予算の規模は？



那覇市の予算の規模は？ おしえて！



「一般会計予算」では、1,280億8,800万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2,098億7,042万円になります。

「一般会計予算」では、1,280億8,800万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2,098億7,042万円になります。

一般会計予算
1,280億8,800万円



特別会計予算
686億7,997万円



公営企業会計予算
131億246万円

一般会計とは、教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計のことです。主な収入は、市税(市民税や固定資産税など)や国・県支出金などです。

特別会計予算とは、特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計予算から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。那覇市には、7つの特別会計予算があります。

- ・土地区画整理事業特別会計(5億7,132万円)
- ・国民健康保険事業特別会計(433億7,059万円)
- ・市街地再開発事業特別会計(3億4,969万円)
- ・介護保険事業特別会計(212億2,211万円)
- ・後期高齢者医療特別会計(28億1,588万円)
- ・病院事業債管理特別会計(2億6,989万円)
- ・母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計(8,049万円)

那覇市では、水道事業及び下水道事業の2つの公営企業会計予算があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

- ・水道事業会計予算(76億3,998万円)
- ・下水道事業会計予算(54億6,348万円)

※平成20年度から病院事業会計は、地方独立行政法人へ移行しました。

＝ 2,098億7,042万円

予算の必要なわけは？



予算はなんのために必要なんですか？ おしえて！



行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、収入と支出の見積もりとその計画です。今後、1年間の行政サービスを計画的に行うために予算を作成することが必要となります。

市長には、予算の執行権があります。市長が予算を作成し、議会の議決を得ることによって、市長の予算執行権を民主的にコントロールをすることができます。そのためにも予算を作成する必要があります。

予算が成立した後、予算の執行権者である市長はその責任において予算の執行を開始します。歳入における予算の執行と歳出における予算の執行とは、その性質や効力の面で異なります。歳入予算は単なる収入の見込みにすぎないので、予算額を上回る収入も可能ですし、また、予算額よりも少額の収入となることもあります。しかし、歳出予算は成立した予算の目的に従って、予算の範囲内において執行する必要があります。つまり、予算額を超えて支出することはできません。

このように予算を決めることによって、予算執行権のある市長の権限を民主的にコントロールすることが可能となります。

予算の必要なわけは？



市民一人当たりの経費と市税の使いみちは？



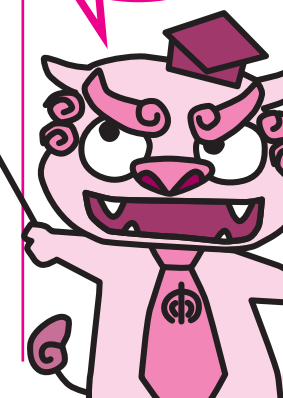
市民一人当たりだと下記のような使いみちになります。(一般会計)

市民一人当たり行政経費及び市税負担額(一般会計)

- 人口(平成25年3月31日現在) 318,708人
- 平成25年度市税総額 40,670,763,000円
- 市民1人当たり行政経費 401,898円
- 市民1人当たり市税負担額 127,611円

区 分	金額(円)
議 会 費 (議会運営のための経費)	2,577
総 務 費 (市役所の運営、広報などのための経費)	33,608
民 生 費 (福祉施設の運営、生活扶助、児童及び老人福祉などの経費)	185,230
衛 生 費 (市民の健康維持やごみ処理などの経費)	28,392
労 働 費 (雇用拡大や失業対策などに要する経費)	1,611
農林水産業費 (農林漁業の振興、技術の普及を図るための経費)	518
商 工 費 (商工業の振興、中小企業、観光振興のための経費)	5,209
土 木 費 (道路、橋、河川、公園などの基盤整備のための経費)	55,541
消 防 費 (市民の生命、財産を守り、災害を防ぐための消防活動経費)	8,839
教 育 費 (学校教育の充実、生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツの振興のための経費)	35,983
公 債 費 (事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金)	44,169
そ の 他	220

基礎編は
これで修了。
次は収入編です。



にせんおく...
すごい金額
ですニャ



収入編

(一般会計予算)

那覇市の収入には、市税や国と県からの収入、銀行等からの借り入れや施設の使用料などがあります。

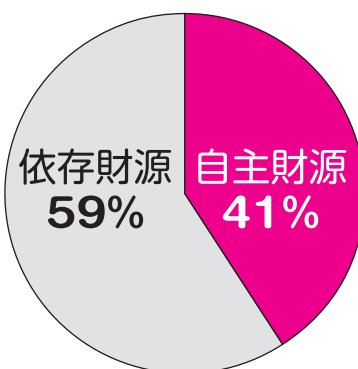
那覇市の一般会計予算（1年度間の収入）

項目	金額（単位：千円）
市 税	みなさんが、那覇市に納める税金です。 40,670,763
分担金及び負担金など	事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて負担していただきます。 3,185,792
使用料及び手数料など	市の施設を利用する際に支払うお金です。 5,366,353
市 債	銀行などから借金をしています。 10,219,518
繰入金	主に、基金を取り崩しています。 3,425,276
地方譲与税 地方消費税交付金など 地方交付税	みなさんが国に納める税金の一部です。 使いみちは自由です。 661,194 3,613,021 15,413,203
国・県支出金	みなさんが国や県に納める税金の一部です。 使いみちが決められています。 45,532,880
計	128,088,000

那覇

市の一般会計予算の

- ・約**41%**が市税などの自主財源の収入です。
- ・国からの交付税などの依存財源は約**59%**です。



【自主財源】

市が自主的に収入しうることのできる財源です。
市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、財産収入などが該当します。

【依存財源】

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです。地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、市債などが該当します。

自主財源の比率が大きいことが大切です。

¹/₂₀₀₀₀ に置き換えて・・・

那覇市の**収入(歳入)**予算を家計簿に例えてみました！

那覇市の**平成25年度の一般会計予算は、1,280億8,800万円**です。数字が大きすぎて、なかなか実感できません。そこで、「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな収入があり、普通の家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてわかりやすくしてみました。)

なは家の家計簿

(1年間の収入状況)

収入項目	金額(万円)
基本給与	203
諸手当	16
パート収入	27
銀行からの借り入れ	51
預金の取り崩し	17
親からの仕送り	98
親から特別に もらう仕送り	228
計	640

なは家の 家計簿(収入)の特徴

年間の収入は、決して低いとは言えません。
しかしながら、その実状は、親からの仕送りに頼っていることがはっきりしています。また、銀行からの借り入れや預金の取り崩しを毎年のように行っています。
今後は、親からの仕送りは減っていくことが考えられます。預金もそんなに多くは残っていません。基本給与や諸手当及びパート収入の増に努めたいところです。
また、収入が減っていくことが予想されるので、支出を抑えていくことが必要だと考えます。



那覇市の市税収入は、**増えているの？減っているの？どっち？おしえて！**



那覇市の収入の根幹である「市税」収入は、平成23年度決算で409億5,225万円と、前年度に引き続き400億円を超えました。収納率も93.2%で初めての93%超えとなりました。また収入額も前年度決算額より、約6億4千万円増えています。また、平成25年度予算額においても、406億7,076万円を見込んでいます。

市税収入には、主に個人市民税、法人市民税、固定資産税などがあります。平成23年度決算では、前年度に比べ約6億4千万円増加しています。主な内訳では、市民税が約3億3千万円の減となっているものの、固定資産税が約4億3千万円、市たばこ税が約5億円の増などとなっています。

また、市税の納付率については、平成17年度の90.6%から平成19年度には91.8%で、年々向上していました。平成20～21年度は、景気悪化の影響により、91.7%となり0.1%減少しましたが、平成22年度は92.3%、平成23年度は93.2%となり初めて93%を超えました。

	収 入 額	納付率
平成17年度	346億8,417万円	90.6%
平成18年度	364億5,897万円	91.3%
平成19年度	387億9,400万円	91.8%
平成20年度	396億1,958万円	91.7%
平成21年度	391億3,926万円	91.7%
平成22年度	403億1,108万円	92.3%
平成23年度	409億5,225万円	93.2%
平成24年度	405億7,210万円	
平成25年度	406億7,076万円	

(注)平成23年度までは決算額、平成24、25年度は予算額です。

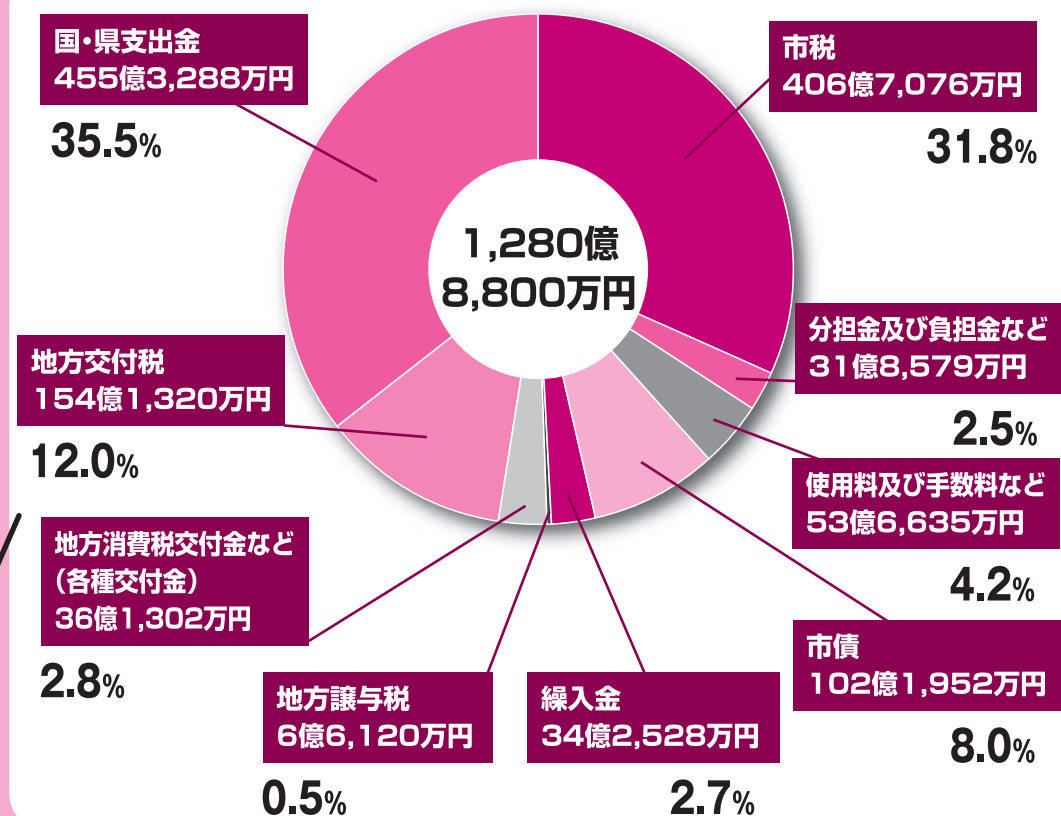
支出(歳出)予算の家計簿は、p12に掲載しています。

節約って
大事なのニャ



予算書では、収入のことを歳入と表現しています。
那覇市一般会計予算の歳入の特徴を説明します。

一般会計予算 歳入



国・県支出金

特定の行政目的を達成するために、当該経費にあてることを条件に交付されます。

● 国庫支出金	310億4,772万円
● 県支出金	144億8,516万円

地方交付税

国は、地方公共団体間での財源の不均衡を調整して、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障します。国税として徴収した税の一定割合を、地方公共団体の財政状況等に応じて配分します。自由に使える一般財源です。

● 普通交付税	139億1,008万円
● 特別交付税	15億312万円

各種交付金の内訳

● 利子割交付金	2億25万円
● 配当割交付金	3,374万円
● 株式等譲渡所得割交付金	1,130万円
● 地方消費税交付金	28億6,383万円
● 自動車取得税交付金	8,963万円
● 国有提供施設等所在市町村助成交付金	2億9,380万円
● 地方特例交付金	6,847万円
● 交通安全対策特別交付金	5,200万円

地方譲与税

国は、国税として徴収した特定税目の収入額を、一定の客観的な基準によって地方公共団体に譲与します。財政状況等を考慮することなく、全地方公共団体に一律の客観的基準で配分される点で地方交付税と異なります。

● 自動車重量譲与税	3億3,845万円
● 特別とん譲与税	1,875万円
● 航空機燃料譲与税	1億5,805万円
● 地方揮発油譲与税	1億4,595万円

歳入の特徴

- ①市民のみなさんが納める税が、収入(歳入)の約31.8%です。
- ②国、県から使いみちを指定されて、特定の事業に対して交付される国・県支出金が約35.5%となっています。
- ③地方交付税は154億1,320万円で、中核市移行に伴い前年度より35億5,189万円増えています。
- ④その他の収入のうち、繰入金(基金の取り崩しなど)の収入は34億2,528万円で、前年度より20億1,149万円減っています。
- ⑤市債は102億1,952万円で、新庁舎完成による借入が終了したことなどにより、前年度より52億223万円減っています。

市税

● 固定資産税	198億7,824万円	● 個人市民税	126億3,123万円	● 軽自動車税	5億1,301万円
土地や家屋などを所有している方が納めています。	所得などに応じて納める税です。	軽自動車を持っている方が納めています。			
● 市たばこ税	30億8,409万円	● 法人市民税	37億2,694万円	● 事業所税	8億2,347万円
タバコを買った方が納めています。	市内の会社が収益などに応じて納めています。	市内の会社が納めています。			
● 入湯税	1,378万円				
温泉を利用した方が納めています。					

市債

地方公共団体が事業を実施するために国や金融機関などから借り入れる借入金のうち、その返済が2年度以上にわたる長期の借入金のことです。家計における借金に相当します。

● 市債	102億1,952万円
------	-------------

その他の収入の内訳

● 分担金及び負担金	18億5,813万円
● 財産収入	8億2,766万円
● 繰越金	5億円
● 諸収入	24億9,783万円
● 使用料及び手数料	28億6,852万円
● 繰入金	34億2,528万円



借金(市債)をするのは、なぜ？ おしえて！



学校などの公共施設の建設費には一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために借金をします。資金繰りという面もありますが、将来の市民のみなさんにも公平に負担してもらう面もあります。

市債とは、那覇市が資金調達のために負担する債務であって、その返済が一会計年度を越えて行われるものをいいます。

那覇市(地方公共団体)の支出(歳出)は、市債以外の収入(歳入)で賄うことが原則ですが、多額な場合や将来の市民にも経費を分担させることが公平である場合などには、市債を支出(歳出)の財源とすることができます。

収入(歳入)の内訳を
見てみよう！



学校や
公共施設は
大事だニャ！



支出編

目的別(一般会計予算)

那覇市の支出には、福祉、教育、消防など市民の暮らしのための分野をはじめとして、都市基盤の整備や環境施策などの分野に使われています。

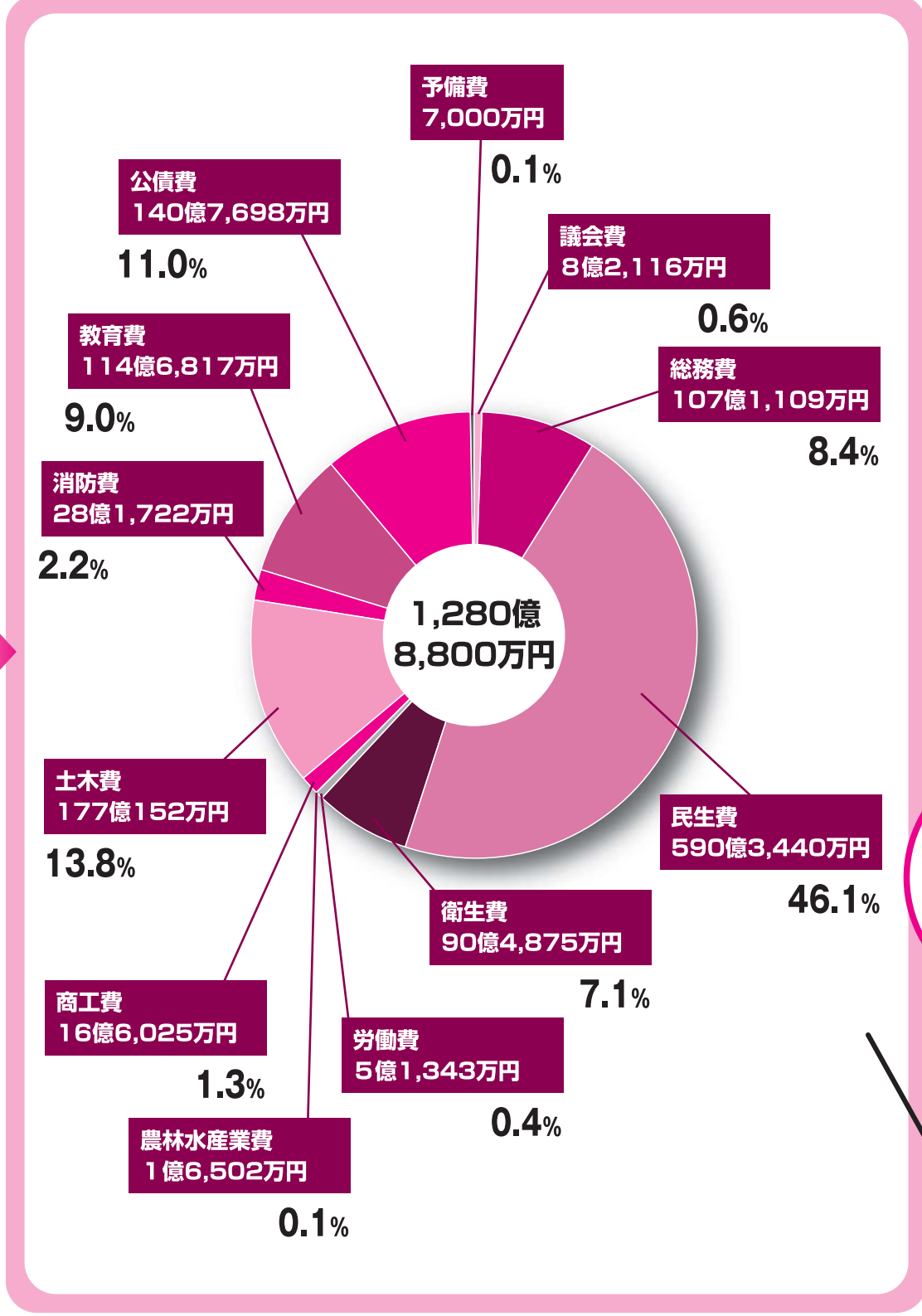
予算書では、支出(出ていくお金)のことを、歳出と表します。平成25年度のお金の使いみちの見積です。

那覇市の一般会計予算 (歳出)			
名 称	概 要	金額 (単位：千円)	割 合
議 会 費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などに係る経費です。	821,164	0.6%
総 務 費	庁舎などの管理事務に関する経費、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費のほか、市税の賦課・戸籍住民基本台帳・選挙・統計調査に係る経費です。	10,711,091	8.4%
民 生 費	社会福祉の充実を図るため、児童、老人、心身障がい者などのための社会福祉施設の整備、管理運営や生活保護などに係る経費です。	59,034,402	46.1%
衛 生 費	市民の健康を保持増進し、生活環境の改善を図るとともに、医療、公衆衛生、精神衛生などに係る経費と、ごみなどの一般廃棄物の収集・処理などに係る経費です。	9,048,753	7.1%
労 働 費	労働者の福祉向上や就労支援などに係る経費です。	513,434	0.4%
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに係る経費です。	165,016	0.1%
商 工 費	商工業の振興と、中小企業の育成、企業誘致などに係る経費です。	1,660,250	1.3%
土 木 費	まちの基盤整備を図るため、道路、河川、住宅、公園などの各種公共施設の建設、整備を行うとともに、これらの施設の維持管理に係る経費です。	17,701,519	13.8%
消 防 費	火災、風水害、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を守り、災害の防除などに係る経費です。	2,817,218	2.2%
教 育 費	教育の振興と文化の向上を図るため、学校教育、社会教育などの教育行政に係る経費です。	11,468,169	9.0%
災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧に係る経費です。	4	0.0%
公 債 費	事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債（借金）の返済金です。	14,076,979	11.0%
諸 支 出 金	支出の性質により、他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。	1	0.0%
予 備 費	緊急に支出を必要とする場合のための経費です。	70,000	0.1%
計		128,088,000	

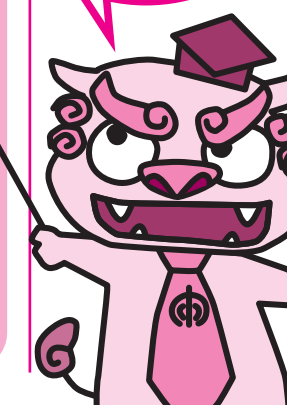
いろいろなことに使うんだニャ～



なるほどニャ
民生費が約50%を
占めるんだニャ



次のページで
もっとくわしく
説明します



性質別（一般会計予算）

支出(歳出)を別の視点から見るができます。目的別の経費を性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。

那覇市の一般会計予算（性質別）

金額（単位：千円）

● 義務的経費

人件費	19,292,291
扶助費	44,607,991
公債費	14,076,979
小計	77,977,261

義務的経費

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。
・人件費…職員の給料などにかかる費用です。
・扶助費…生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。
・公債費…過去に借り入れた借金(収入の部の「市債」)の返済にかかる費用です。

● 消費的経費

物件費	13,413,652
維持補修費	674,844
補助費等	7,895,479
小計	21,983,975

消費的経費

後年度に形を残さない性質の費用です。
・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。
・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。
・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。

● 投資的経費

普通建設事業費	15,773,425
単独	1,279,095
補助	14,494,330
災害復旧事業費	4
単独	0
補助	4
小計	15,773,429

投資的経費

幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、市営住宅の建て替え、道路や公園の整備・建設など、都市基盤の整備にかかる費用です。

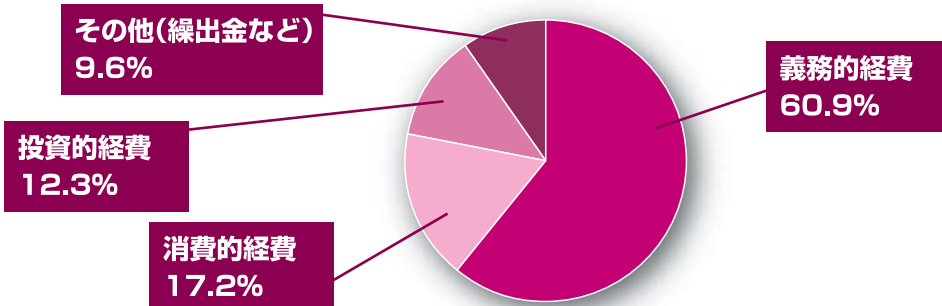
● その他の経費

積立金	1,609,985
投資及び出資金	0
貸付金	357,001
繰出金	10,316,349
予備費	70,000
小計	12,353,335

その他の経費

その他の経費には、上記以外の経費を含めています。
・積立金は、各種基金への積立です。
・繰出金は、特別会計予算などへの繰出です。
・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために予定しています。

合計 128,088,000



割合はこうなっています



¹/₂₀₀₀₀ に置き換えて…

那覇市の支出(歳出)予算を家計簿に例えてみました！

支出についても、那覇市の一般会計予算の支出(歳出)の性質別を「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな支出があり、普通の家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてつくってみました。)

なは家の家計簿

(1年間の支出状況)

支出項目	金額(万円)
食費(人件費)	96
医療費(扶助費)	223
光熱水費・通信費、 その他の支出(物件費など)	120
家の増改築(投資的経費)	79
子どもへの仕送り (特別会計などへの繰出金)	52
ローン返済(公債費)	70
計	640

なは家の家計簿(支出)の特徴

どうしても支払わねばならない食費、医療費及びローン返済の占める割合が、全支出の60.9%もあります。
子どもへの仕送りもあるなかで、古くなった家の修繕も行わなければなりません。子ども達には、独立してがんばってもらいたいと考えていますが、なかなかうまくいきません。来年以降も、医療費と家の修繕は増えていくものと思われます。食費については、これからも切りつめていく努力をしなければなりません。



前年度と比べてどんな経費が増えて、どんな経費が減っているの？ おしえて！



扶助費などが増え、公債費、普通建設事業費が減っています。

1. 「義務的経費」は、約4億円の減となっています。内訳としては、扶助費が生活保護費や小児慢性特定疾患治療研究事業などの増により、約12億7千万円の増となっている一方で、人件費は約3億5千万円の減、また、公債費は約13億2千万円の減となっています。
2. 「消費的経費」は、那覇港管理組合補助金などの増により約33億円の増となっています。
3. 「投資的経費」は、新庁舎建設事業、小禄中学校校舎建設事業の終了などにより、約5億8千万円の減となっています。
4. 「その他の経費」は、那覇市施設整備基金積立金などの増により約1億7千万円の増になっています。

収入(歳入)の家計簿は、p6に記載しています。

扶助費が多いんですニャ～



平成25年度 予算の考え方



平成25年度予算は、保健所開設など中核市にかかる事業や一括交付金を活用した事業を盛り込んだ、記念すべき中核市初年度予算となっています。

平成25年度予算を通じて、「いい暮らしより 楽しい暮らしを」というキャッチフレーズの下、市民サービスの「スピードアップ、パワーアップ、レベルアップ」に取り組み、市民との協働をより一層進め、「中核市・なは」として風格あるまちづくりに努めていきたいと考えています。

市政運営の基本姿勢

沖縄21世紀ビジョン基本計画と一括交付金

沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づいて、県が自立と発展のため歩みを始めた中で、本市も4月から中核市として、新たな道を歩み始めています。中核市への移行では、標語として掲げた「スピードアップ、パワーアップ、レベルアップ」を目指し、市民サービスの向上に取り組みます。昨年度から始まった新たな沖縄振興特別推進交付金については、今年度もしっかり活用して、様々な沖縄振興と発展に資する事業を展開していきます。

ハイサイ・ハイトイ運動から始まる文化発信

伝統文化を、ウチナーのチムグクルとともに引き継ぐためにも、ウチナーグチを、より多くの市民が日常生活の中で使う必要があると考えています。ウマンチュがウチナーグチを話すウチナーをめざし、文化面からも沖縄や那覇の振興に取り組みます。

【文化振興課】

●うちなーぐち発信事業 415万円

市内の小学校、中学校の各1校と那覇市内に在住・在勤の一般市民を対象に、沖縄の芸能文化の原点である「うちなーぐち」の次世代への継承発展のため、講師を派遣し、講座及び成果発表会を開催します。

津波など大規模災害への備え

東日本大震災は、台風や地震だけでなく、津波に対しても備えることの重要性・必要性を強く認識させられました。本市の低海拔地域についても、津波に対する備えは急務でありますので、市民の安心安全と地域に貢献する施設として、津波避難ビルの建設に取り組んでいきます。また、島嶼県・沖縄で大規模災害が発生した場合に備えて、九州各県庁所在地と協定を結び、非常用食糧や飲料水の備蓄についても充実させてまいります。新総合庁舎は、県内の行政庁舎としては、初の免震構造を採用したほか、津波対策として電気室等を中階層へ配置するなど、防災拠点としての機能強化も図っています。

【総務課】

●津波避難ビル建設事業 5,997万円

若松市営住宅跡地に避難困難者のための津波避難ビルを建設することで、万が一の際に、市民・観光客の安全を守り、また平常時には、地域住民へのアンケート結果を踏まえた地域コミュニティ施設、青少年育成施設等の整備を行います。

●災害備蓄品整備事業 500万円

平成24年度の沖縄振興特別推進交付金において那覇市の人口の20分の1の3日分について整備しました。備蓄品の保存期限が5年間であることから、これら備蓄品については、5年間をかけて防災訓練や防災教育などに活用し、利用した分については毎年度、更新・補充をします。

協働から紡ぐ沖縄らしい優しい社会

これまで、職員の意識改革、市民との信頼関係の構築などにより、市民自らまちづくりに取り組む環境づくりを進めてきました。これからは、協働の仕組みの完成を目指して取り組んでいくため、銘苅庁舎の後利用として、まちづくり拠点施設の設置を目指します。

※主要事業1(16ページ)を参照ください。

風格ある観光交流都市へ

我が那覇市は、万国津梁の鐘に刻まれた銘文にある、海外交易国家・琉球のチムグクルを持って、観光交流都市の実現を目指します。

※主要事業5(23・24ページ)を参照ください。



「はじめていやーさい!」とは沖縄の方言で「はじめまして」という意味です。沖縄県内では初の中核市誕生ということで、「はじめていやーさい!」という言葉を用いています。

平成25年(2013年)4月1日 中核市・那覇が誕生しました

中核市ってなあに？

中核市は、人口30万人以上の市が国へ申し出ることにより指定を受けることができます。現在は全国で42の市が中核市の指定を受けています。

中核市制度は、政令指定都市に次ぐ規模能力を有する都市の事務・権限を充実させるという観点から平成6年に創設されました。それは、住民に係わる行政は、できるだけ住民に身近な市町村で行えるようにするためです。

中核市に移行したらどうなるの？

中核市へ移行することで約2,500の事務が、県から、市民により身近な市へ移ります。従来から市が処理している事務と県から移る事務を一体的に行うことで、次の市民のサービスの向上が期待されます。

- ①きめ細やかな行政サービス
- ②事務手続きの効率化
- ③地域保健サービスの充実
- ④景観や環境に配慮したまちづくり

どうして中核市になるの？

これからの時代は、地方分権改革の進展に伴い、それぞれの自治体の個性や力量により、より一層、住民福祉のありようが大きく左右されるものとなります。

本市は、このような時代に積極的に対応し新たな役割と責任を果たすため、中核市制度を活用します。

中核市の多様な事務権限を行使することにより、市民ニーズをより的確に把握し、時代に見合った市民サービスの提供を行い、那覇市らしいまちづくりへと発展させていきたいと考えています。

※**地方分権改革**:住民に身近な行政は、自治体が自主的かつ総合的に広く担うようにするとともに、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるようにするための改革



中核市の主な事務を紹介します

民生行政に関すること

【障がい福祉課】

●身体障害者手帳認定・交付事業 99万円

身体障害者手帳の申請に基づき審査及び身体障害者手帳の認定・交付を行います。

【福祉政策課】

●社会福祉法人等指導監査事業 181万円

社会福祉法に規定する社会福祉法人及び社会福祉法その他関係法令に基づき設置された社会福祉施設に対して指導監査を行います。



【子育て応援課】

●母子家庭等日常生活支援事業 200万円

母子家庭等及び寡婦に、疾病その他の理由により日常生活等に支障が生じたと認められるときは、乳幼児の保育もしくは食事の世話もしくは専門的知識をもって行う生活及び生業に関する助言、指導その他の日常生活を営むのに必要な便宜を供与します。

【チャージんじゅう課】

●軽費老人ホーム補助金 2,105万円

低所得で日常生活を営むことについて不安があると認められ、家族による援助を受けることが困難な高齢者を、無料または低額な料金で入所させ、入所者が安心して生き生きと明るく生活できるように目指す施設である軽費老人ホームへ補助を行います。

保健衛生行政に関すること

〔地域保健課〕

●小児慢性特定疾患治療研究事業 1億6,002万円
小児慢性疾患のうち、小児がんなど特定の疾患については、その治療が長期間にわたり、医療費の負担も高額となることから、その治療の確立と普及を図り、併せて患者家族の医療費の負担軽減のため、医療費の自己負担の一部を補助します。

●未熟児養育医療費事業 3,779万円
身体の発達が未熟なまま出生した乳児の保護者の申請により、その所得に応じて医療費の助成を行います。

●特定不妊治療費助成事業 6,036万円
医療保険の適用外である特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)について、治療費の一部を助成します(1回の治療につき当該夫婦が当該年度に指定医療機関に支払った不妊治療費の額と15万円とを比較して少ない方の額(治療内容により7万5千円が上限もある)、初年度は1年度あたり3回、2年度目以降は1年度あたり2回を限度に、通算5年度)。

●精神保健福祉相談事業 265万円
精神障がい者及び家族が適正な医療を受け、治療中断を防ぎ、さらに精神障がいをもちながらも安心して地域で生活できるように支援することを目的に、相談、訪問、通報対応等を行います。

〔環境衛生課〕

●犬猫等抑留・収容等業務委託事業 1,711万円
中核市移行に伴い、狂犬病予防法で抑留施設の設置が義務付けされていますが、同施設の設置まで時間を要するため、その間は犬猫等の抑留・収容業務を沖縄県へ委託します。

〔生活衛生課〕

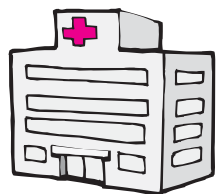
●食品衛生監視指導事業 1,342万円
食品衛生法に基づき、食品の安全性を確保するため、食品関係営業施設の許認可、食品営業施設の監視指導、食品衛生監視員の資質向上のための研修会等を開催します。

●生活衛生監視指導事業 54万円
生活衛生営業施設(理容所、美容所、クリーニング店、興行所、公衆浴場及び旅館等)の監督指導の他、衛生講習会の開催等により、これら営業施設に起因する事故の未然防止に努めます。

〔健康増進課〕

●結核予防事業 1,732万円
結核患者に対して医療診査の実施や管理検診の徹底を図り、再発防止及び感染防止に努め、適正かつ効果的な結核治療の促進を図ります。また、「結核に関する特定感染症予防指針」に基づき、地域実情にあわせた重点的な結核対策事業を実施し、より効率的・効果的な予防措置により結核対策を推進します。

●感染症予防事業費 1,030万円
感染症の発生予防及びまん延防止を目的として、関係機関と緊密に連携して総合的な対策を行います。また、全国規模で収集された情報により、感染症流行情報を迅速に解析還元し、有効かつ確かな感染症予防対策を図ります。



都市計画等に関すること

〔都市計画課〕

●都市景観審議会(屋外広告物専門部会) 29万円
本市の屋外広告物に関する計画などの策定や屋外広告物の表示のできない禁止地域などの指定を行う際には、都市景観審議会の意見を聴きます。

文教行政に関すること

〔教育委員会 教育研究所〕

●初任者・10年経験者・その他研修事業 474万円
市立小学校、中学校の県費負担教職員の研修を行います。

その他(消費生活に関すること)

〔市民生活安全課〕

●計量関係事業 159万円
計量法に基づき、計量に関する啓発事業、2年に1度のはかりの定期検査、スーパー等にて適切な量目かどうかの立ち入り検査などを実施します。

環境保全行政に関すること

〔環境保全課〕

●大気汚染防止対策事業 2,049万円
市民の健康の保護、生活環境の保全を図るため、大気汚染物質常時測定、大気汚染物質測定器整備、有害大気汚染物質測定、工場・事業場等の監視指導等を実施します。

●水質保全対策事業 630万円
市民の健康の保護、生活環境の保全を図るため、公共用水域の水質及び地下水の水質環境基準の監視業務、工場・事業場等の監視指導、死魚分析、主要水浴場の水質調査等を実施します。

●水質汚濁防止対策事業 247万円
市民の健康の保護、生活環境の保全を図るため、大気、水質及び土壌のダイオキシン類による汚染の状況の常時監視、ダイオキシン類発生源の監視指導等を実施します。

〔廃棄物対策課〕

●産業廃棄物対策事業 482万円
一般廃棄物と同様に適正処理の指導・助言を行うとともに、資源循環型社会の実現に向けて、ごみ減量・再資源化を推進します。

平成25年度の主な事業を、第4次那覇市総合計画で掲げた6つの都市像に沿ってご説明します。

主要事業 ① 心地よいつながりでつくる自治・協働・平和都市

まちづくりの主役は市民です。多様な価値観や社会環境の中、緩やかでいて、ときには団結し、力をあわせて理想を実現していくような、市民の間の心地よいつながりで、自治・協働の平和都市を創造していきます。

協働によるまちづくり

〔まちづくり協働推進課〕

●まちづくり拠点施設(仮称)施設整備事業 4億8,200万円
協働によるまちづくりを一層推進し、取り組みを活性化するため、旧銘対庁舎を活用し、市民協働の拠点となる施設及び産業振興に資する施設の整備を目指して取り組みます。

●協働大使活動支援センター管理運営費 882万円
那覇市協働大使をはじめとする、市民活動団体の交流、情報交換及び活動の拠点として「協働大使活動支援センター」を管理運営し、協働によるまちづくりを推進します。

●小学校区コミュニティモデル事業 377万円

小学校区を範囲とし、地域で活動する団体が緩やかに連携する新たな地域コミュニティの仕組みづくりに向けて、モデル事業を4地区で引き続き実施します。

●なは市民協働大学 88万円
市民の皆様へ協働によるまちづくりについて理解を深めていただくとともに、地域課題解決に向けた人材育成のための講座を実施します。

幸せ感のあるまちの創出

〔平和交流・男女参画課〕

●「思春期の心と体」のための意識啓発事業 167万円
市立中学校生とその保護者、教職員を対象に行なわれる「思春期の心と体」のための意識啓発事業として、思春期におけるいじめ、性暴力、若年者同士のDVである「デートDV」等の問題や危険について考え、予防・解決へのヒントの提供を行います。

〔市民生活安全課〕

●相談事業 417万円
行政に対する要望や陳情等の適切な処理を行い、また、法律・登記・税金・悩みごと相談等の各種相談コーナーを開設し、市民生活の不安の解消や問題の解決に寄与するとともに、相談事業の円滑な運営を図ります。

平和交流・男女共同参画

〔平和交流・男女参画課〕

●伯亜移民105周年およびUSV市姉妹都市提携35周年記念事業 345万円
南米で活躍する多くの県人と交流を深めるため、ブラジル・アルゼンチンへの県人移民105周年記念式典及び那覇市・サンピセンテ市姉妹都市締結35周年記念式典に参加し、一層の相互理解と友好発展を図ります。

●那覇軍港跡地利用計画事業 508万円

那覇軍港地権者合意形成活動全体計画に基づき、地権者等関係者との合意形成活動のための基礎的体制づくりとして、課題研究及び地主会等への勉強会、情報誌による情報提供を行い、地権者等の意向醸成活動を推進します。

市民に開かれた効率的な行政

〔議会事務局議事調査課〕

●市議会映像配信事業 63万円
インターネットシステムによる市議会定例会、臨時会の生中継及び録画中継を行い、市民の傍聴する機会を拡大を図ります。

〔行政経営課〕

●包括外部監査契約 1,023万円
中核市に対して、実施が義務付けられている包括外部監査契約により「住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げる」ことと、「組織及び運営の合理化に努めるとともに、規模の最適化を図る」ことを目的に、包括外部監査を実施します。

〔市民課〕

●戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業 1億4,595万円
戦災により滅失した戸籍を再製するために作成された沖縄関係戸籍を電算化することにより住民の個人情報資産である沖縄関係戸籍の保存性を高め、震災にも耐えうる管理運用を実施し、住民からの申請があった場合に速やかに情報開示する体制を整備します。

●窓口業務外部委託事業 1億657万円
市民課窓口業務の一部を民間委託し、民間の有する多様な専門性と柔軟性・ノウハウを活かし、質の高い市民サービスの提供を図ります。

〔企画調整課〕

●ファシリティマネジメント等推進事業 57万円
市有財産に係る経費の最小化や効用の最大化を図ることを目的に、その管理手法(マネジメント手法)の確立と推進計画の策定に向けて取り組みます。

主要事業 ② 地域力を活かし、生きがいをもって支えあう健康都市

市民の誰もが社会的な役割と生きがいをもって、お互いに支えあい、充実した暮らしを実現することのできる健康都市をめざします。

健康づくりと地域医療の充実

【健康増進課】

● 子宮頸がんワクチン接種助成事業

7,188万円

女性の子宮頸がんへの罹患を防ぐため、本市に住所を有する、中学1年生～高校1年生の女子に対し子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額助成を行います。

● ヒブワクチン接種助成事業

1億764万円

乳幼児の細菌性髄膜炎の予防のため、那覇市に住民登録のある、2ヵ月齢以上5歳未満の乳幼児に対し、ヒブワクチンの予防接種費用の全額助成を行います。

● 小児用肺炎球菌ワクチン接種助成事業

1億6,142万円

乳幼児の肺炎球菌感染症の予防のため、那覇市に住民登録のある、2ヵ月齢以上5歳未満の乳幼児に対し、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種費用の全額助成を行います。

● 高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業

981万円

肺炎の主原因のひとつである肺炎球菌による感染を予防するため、75歳以上の高齢者に肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成を行います。

● 「健康なは21」推進整備事業

309万円

生涯を通じた健康づくりを支援するために、働き盛り世代の課題である生活習慣病、メンタルヘルス、受動喫煙防止対策等の課題を関係機関が共有し、連携して対策に取り組めます。

● 生活習慣病重点対策事業

541万円

糖尿病予防戦略事業、たばこ対策促進事業、慢性腎臓病予防啓発事業を実施して、生活習慣病対策を強化します。

● 女性特有のがん検診推進事業

3,423万円

20～60歳の女性のうち特定の年齢の方に、乳がん、子宮がん受診の無料クーポン券を送付することにより、受診率の向上を図ります。

● 病院事業運営費負担金

5億478万円

地方独立行政法人那覇市立病院における不採算事業や経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費を、設立団体である市が運営費負担金として負担します。

【地域保健課】

● 妊婦健康診査事業

3億2,205万円

全妊婦を対象に健康診査及び保健指導を実施し、母体や胎児の健康確保を図ります。

【特定健診課】

● 特定健康診査等事業

2億2,751万円

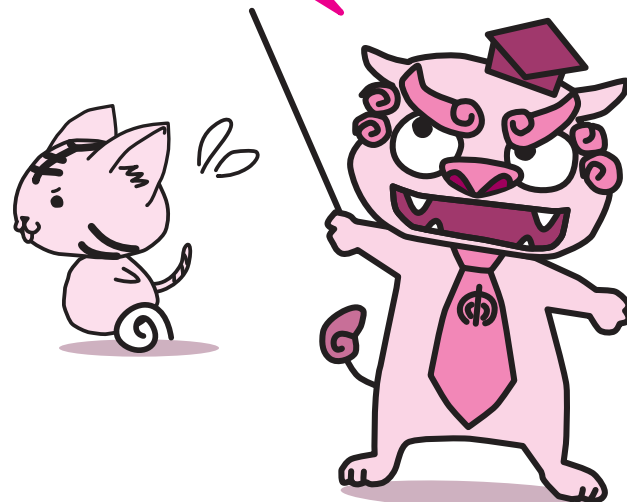
40～74歳の国保被保険者を対象とした「特定健康診査及び特定保健指導」を実施します。平成25年度は特定健診受診率41%、特定保健指導実施率40%を目指します。

● 特定健診受診率向上特別対策事業

2,726万円

平成25年度特定健診受診率の目標の達成に向け、様々な方法で受診を勧奨し、受診率の向上を図ります。

日頃の
運動不足にも
気をつけましょう



ユニバーサルデザインのまちづくり

【障がい福祉課】

● パーキングパーミット交付事業

65万円

身体障害者用の駐車スペースの適正な利用を促進するため、利用対象となる障がいのある方に利用認定証を交付し、車に掲示してもらうことによって、当該駐車場を利用できる者であることを明らかにしながら、本来必要としている障がいのある方の駐車スペースの確保を図ります。

【地域保健課】

● 地域生活支援事業(社会参加)

87万円

障がいがあっても、地域で暮らし地域の一員として生活が出来る地域づくりを目的に、精神保健福祉サービスを提供するための技術向上のための研修、地域への精神保健福祉の普及啓発のための講演会等の実施、精神保健福祉関係機関のネットワークの構築を行います。

ともに生きる心を育てる

【福祉政策課】

● 那覇市福祉の街づくり推進事業

241万円

「すべての人にやさしいサービス(心のバリアフリー)」を広めるため、次世代を担うこどもや市民、企業を対象にサービス助成セミナーを継続して開催します。また、福祉のまちづくり推進員と協働して、市民や事業者に対し、バリアフリーの現状や対策の情報提供、心のバリアフリーの啓発などを行います。

● 法人後見推進事業

405万円

認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分または欠けているため、成年後見制度が必要な市民が、個人による後見では対応が困難であると思われる場合において、社会福祉協議会が法人組織としての後見を実施します。

地域の支えあい

【保護管理課】

● 生活保護世帯日常金銭管理支援事業

941万円

被保護世帯のうち、日常生活における金銭管理等に不安がある世帯に対しその支援を行うことで、安心して自立した生活が送れるよう支援します。

● ホームレス支援推進事業

1,170万円

ホームレス巡回指導員を配置し市内のホームレスを把握すると同時に、生活医療等の相談をとおして社会的自立を支援します。

自立を支援するサービス提供

【障がい福祉課】

● 障がい者就労支援事業

966万円

就労を希望する障がい者の就職支援及び就労している障がい者の安定的かつ継続的な職場定着支援を図るジョブサポーターを派遣し、障がい者の就職支援と就職後の職場定着を図ります。

● 居住サポート事業

227万円

障がい者が地域で自立した生活を営むことができるよう、アパート等の住居探しの支援や生活体験のサービスを提供します。

● 発達障がい者地域生活支援・相談員配置事業

3,323万円

専門的職員を配置し、発達障がい者本人または、発達障がい者の家族及び関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供、権利擁護のための援助を行い、発達障がい者本人が自立した日常・社会生活が営むことができるよう、継続的な支援を行います。

【障がい福祉課】

● 障害者虐待防止対策支援事業

164万円

障がい者に対する虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応と適切な支援を行います。

【ちゃーがんじゅう課】

● 高齢者公共交通割引制度

407万円

那覇市在住の70歳以上の高齢者に外出の機会や積極的な社会参加を促すため、土・日・祝祭日(慰霊の日を含む。敬老の日除く。)にモノレール各駅窓口で販売されている「がんじゅう一日乗車券」の補助を行います。

【保護管理課】

● 住宅手当緊急特別措置事業

8,852万円

就労意欲はあるものの、解雇、離職等によって住居を喪失、あるいは喪失するおそれのある市民に対して、住宅手当を給付し、生活の建て直しを支援します。

主要事業 ③ 人・自然・地球にやさしい環境共生都市

地球温暖化がもたらす異常気象は人類への警鐘です。すべての市民が日常生活の中でも地球環境への影響を考え、行動する、人・自然・地球にやさしい環境共生都市をめざします。

地球環境への配慮

【環境政策課】

●住宅用太陽光発電システム導入促進助成事業 700万円

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減及び環境保護についての意識啓発を図ることを目的として、市内の自らが居住する住宅に、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対して補助を行います。

●緑のカーテン・屋上・壁面緑化推進事業 1,076万円

緑のカーテン推進事業は、自治会や認可・認可外保育園等を対象にモデル施設を選定し、つる性植物の育成に必要な資材提供を行います。屋上・壁面緑化推進事業は、市内の建築物を対象に申請に基づき屋上・壁面緑化工事費の一部を助成します。

●モノレール沿線ベランダ緑化支援事業 374万円

前年度に実施した「モノレール沿線ベランダ緑化促進事業」のフォローアップ事業として位置づけ、同事業によりベランダ等に設置された植栽プランターを良好な状態に維持させ、「まとまった・見える建築物緑化」を形成することで、花と潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創成及び地球温暖化対策を目的に実施します。

●温暖化対策啓発事業 404万円

省エネエコライフについて啓発講座を開催し、温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。

資源循環型社会

【クリーン推進課】

●スポーツ広場整備事業 1,206万円

昨年、旧最終処分場跡地にオープンした「ちゅらティードスポーツ広場」の付帯施設整備に取り組みます。

【環境保全課】

●水資源有効利用推進事業 120万円

水資源の有効利用及び地下水かん養のため、市内の住宅で雨水・井戸水利用設備の設置者に建設補助金を交付します。

自然環境の保全・再生・創造

【環境保全課】

●市内湧水水質調査業務 763万円

水質の現況を把握し湧水時や災害時に生活用水として活用するための基礎資料を得ることを目的に、市内の主な湧水の水質調査を実施します。

衛生的な環境の確保

【環境保全課】

●公営墓地施設整備事業 7,045万円

人口増加や世帯分化の影響により個人墓が急増し、墓地と住宅地が混在する市街地が形成され様々な問題が生じています。これらの諸問題を踏まえ策定した「那覇市墓地等に関する基本方針」を基に、狭隘な市域において、本市の実情にそった墓地（納骨堂）の提供を行うために、納骨壇、合葬室を併せ持つ新たな形態の公営墓地である「那覇市民共同墓（仮称）」の建設を行います。

【環境衛生課】

●犬猫適正飼養推進事業 1,432万円

愛がん動物の飼い主に「終生飼養」及び「繁殖制限」を基本とした適正飼養の普及啓発を行い、人と動物が共生できる快適な生活環境の構築を図ります。また、狂犬病予防法及び那覇市飼い犬条例に基づき、狂犬病予防注射接種の啓発及び登録事務を行い、さらに、飼い主に対する適正飼養の指導、所有者不明犬猫の引取り及び徘徊犬の捕獲等を行います。

主要事業 ④ 子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市

未来の担い手である子どもたちが将来への夢を育て、その笑顔が町中にあふれ、市民が多様な価値観を認めあいながら、伝統的な文化を次代へ継承し、新たな文化を生みだしていくことのできる、ゆたかな文化都市を創ります。

生涯学習と地域の教育力の向上

【平和交流・男女参画課】

●陸上競技場兼サッカー場整備実施計画調査 1,259万円

奥武山公園内に陸上競技場兼サッカー場整備を進めていくうえで、計画条件の整理や基本方針など、必要要件についての整備実施計画調査を行い、平成26年度以降の工事について、概算工事費を積算します。

【教育委員会 中央公民館】

●プラネタリウム番組開発等事業 1,811万円

牧志駅前ほしぞら公民館にあるプラネタリウムの番組を作製します。

【教育委員会 市民スポーツ課】

●体育施設維持補修工事 470万円

那覇市体育施設（那覇市民体育館、漫湖公園市民庭球場、首里石嶺プール）の維持補修工事を施し、市民が快適な環境で施設を利用できるようにします。

●児童のスポーツ県外派遣補助金 875万円

児童のスポーツ活動を支援して、競技力の向上とスポーツの普及発展を図ります。

子育て支援と就学前教育・保育

【こども政策課】

●法人保育所新規等建設補助金 4億7,398万円

待機児童の解消を図るため、認可外保育施設の認可化に伴う施設整備や認可園の増改築等に対して補助を行います。

●幼稚園園舎建設事業 7億6,399万円

老朽化した園舎の改築を行います。
・泊幼稚園園舎建設事業（平成25年度完成予定）
・真嘉比幼稚園園舎建設事業（平成25年度完成予定）
・前島・久茂地小学校統合新校整備事業（幼稚園）（平成25年度完成予定）
・与儀幼稚園園舎建設事業（平成26年度完成予定）
・大名幼稚園園舎建設事業（平成26年度完成予定）
・開南幼稚園園舎建設事業（平成26年度完成予定）
・城西幼稚園園舎建設事業（平成27年度完成予定）

●幼稚園冷房機設置事業 2,279万円

年中を通して暑い沖縄において、幼稚園児が快適な保育環境の中で健やかに活動ができるよう保育室に冷房機を設置します。

●幼稚園施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化） 3,365万円

園舎外壁全面塗装を行い、幼稚園園舎の長寿命化を図ります。

【こどもみらい課】

●私立保育園運営費負担金 67億3,781万円

市内の認可保育園の運営費を負担して、家庭で保育が困難な方のための社会的保育機能の確保を図ります。

●認可外保育施設の環境整備事業 5,129万円

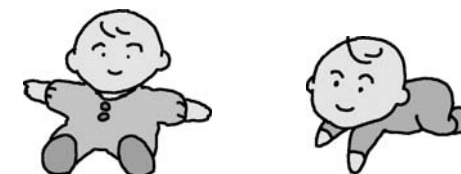
市内の認可外保育施設へ施設改修費を補助します。また、那覇市内の業者に発注することを補助の条件とし、市内業者の活性化を図ります。

●待機児童対策特別事業（認可外） 1億2,902万円

認可外保育施設の保育の質の向上及び入所している児童の処遇向上に資することを目的に、児童の健康診断費の助成、牛乳代、米代、おかず及びおやつ代の助成等を行います。

●伝統文化継承種まき事業 220万円

市立保育所に入所している2歳以上の児童に地域の伝統文化に親しむ機会をつくり体験してもらいます。



子どもの視点に立った環境づくり

【教育委員会 施設課】

●小・中学校校舎建設事業 2億8,097万円

老朽化した校舎の改築を行います。
・大名小学校(平成26年度完成予定)
・寄宮中学校(平成26年度完成予定)
・神原中学校(平成27年度完成予定)
・上間小学校(平成28年度完成予定)

●小・中学校屋内運動場建設事業 6億6,675万円

老朽化した屋内運動場(体育館)の改築を行います。
・泊小学校(平成25年度完成予定)
・城西小学校(平成27年度完成予定)
・真和志中学校(平成26年度完成予定)
・鏡原中学校(平成28年度完成予定)

●前島・久茂地小学校統合新校整備事業 1億8,320万円

平成26年4月に前島小学校と久茂地小学校が統合されるのに伴い、現前島小学校の校舎等その他周辺環境を整備するための事業です。(平成26年度完成予定)

●前島・久茂地小統合新校校舎増築及びプール改築等事業 3,799万円

前島小学校と久茂地小学校を統合することにより平成26年度に開校される統合新校について、校舎の増築、水泳プールの改築、地域・学校連携施設の新設等を行います。(平成26年度完成予定)

●安岡中学校校舎増築事業 1,750万円

教室不足を解消するため、校舎の増築工事を実施します。

●小・中学校施設環境整備事業(冷房設置) 1億5,813万円

亜熱帯地方である沖縄においては、高温多湿な状況が長期間続き、児童生徒の学習環境を改善する必要があるため、小・中学校の普通教室に冷房設備の設置を行います。

●校舎等剥離補修業務事業(小・中学校) 2億135万円

小・中学校施設において、梁や柱など主要構造部分のコンクリートの剥離防止や断面欠損の補修を行います。

●小・中学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化) 2億376万円

塩害等の影響による老朽化を抑制し、建築物の長寿命化を図るため、校舎等の外壁の全面塗装工事を行います。

【教育委員会 学校給食課】

●小学校給食調理場改築事業 3,322万円

校舎改築事業に伴い単独調理場も同時に小規模共同調理場として改築し整備を図ります。
・大名小学校(平成26年度完成予定)
・上間小学校(平成29年度完成予定)
・鏡原中学校(平成31年度完成予定)

【こども政策課】

●児童クラブ整備事業 8,752万円

児童クラブ舎の建築・整備を行います。
・真嘉比小区児童クラブ(平成25年度完成予定)
・与儀児童クラブ(平成26年度完成予定)
・前島小学校・久茂地小学校統合新校児童クラブ(平成26年度完成予定)
・大名児童クラブ(平成26年度完成予定)

●児童クラブ運営補助金 2億4,312万円

児童クラブ運営費の一部を補助します。

●児童クラブ賃借料補助金 1,490万円

児童クラブ運営費の一部を補助します。

【教育委員会 学校教育課】

●児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣) 1,500万円

運動競技・文化的活動(合唱・吹奏楽等)で県代表として県外に派遣される児童・生徒に補助金を交付します。

●那覇市小中一貫教育校推進事業 673万円

学力向上、豊かな人間性や社会性の育成、中学校入学時の不安解消を図る目的から、本市においても小中一貫教育校を平成24年度から導入します。平成25年度は、モデル校として神原中校区小中一貫教育校(神原中・神原小・壺屋小)で、昨年度に引き続き、モデル事業を実施します。

【教育委員会 青少年育成課】

●放課後子ども教室推進事業 965万円

放課後に学校施設等を活用し、こども達に伝統文化・芸能、スポーツ、学習など多様な活動を提供します。

●青少年旗頭事業 387万円

市内全小中学校を対象に、旗頭材料費、補修、演舞指導等を行い、旗頭活動により子どもたちの「居場所作り」「出番作り」を図ります。

●はたちの記念事業 126万円

市内全中学校区にて地域住民による自主開催が行われており、各成人式準備委員会等について、広報、施設使用、運営資金の援助等を行います。

●重点分野雇用創出事業(若者支援ナビゲート事業) 1,249万円

ニート化しやすく社会とのつながりが薄くなりがちな若者の現状、要望等を把握し、関係機関にナビゲート(助言指導等)を行うことで、若者の社会参画活動への支援を行い、絆のある社会づくりに貢献します。

【教育委員会 学校教育課】

●基礎学力向上のための学習支援事業 3,807万円

文部科学省の全国学力・学習状況調査の結果、沖縄県の「確かな学力」の向上が課題であることから、教職経験者等の学習支援員を全小中学校に派遣し、学習支援を実施することにより、基礎学力の定着と向上を図ります。

●離島体験学習支援事業 398万円

離島での課外活動への旅費を補助することにより、離島環境での集団宿泊生活、自然体験等を通じて、人材育成と離島の振興を図ります。

文化の継承と発展

【文化振興課】

●文化芸術発信事業(パレット) 1,174万円

地理的要因で著名な音楽家や劇団等の鑑賞機会の少ない市民県民に舞台芸術の鑑賞を提供し、文化芸術活動の振興に寄与します。

●創作エイサー発信事業 210万円

沖縄の伝統芸能エイサーを基とした創作エイサー団体による太鼓演舞の競演を通して、市民文化の創造と振興、伝統文化の保存と継承を図るとともに、那覇市内の団体を中心とした「創作エイサーコンテスト」を開催します。

●伝統芸能公演事業 1,246万円

「うちなーぐち」で演じられる「組踊」や「沖縄芝居」を各1回公演し、これらの伝統芸能公演をととして市民に「うちなーぐち」を再認識させ、さらに若い世代への継承・発展を図ります。

●新文化芸術発信拠点施設整備事業 1,339万円

新市民会館建設に向け、管理運営計画を含めた基本計画の策定に着手します。



【教育委員会 学務課】

●前島・久茂地小学校統合新校備品整備事業 1,056万円

前島小学校と久茂地小学校が統合されることにより、新校への備品の移動・廃棄・管理換えを行い、併せて学校図書館のシステム移行及びカーテン等の整備を行います。



【文化財課】

●「昭和のなは」復元模型製作事業 1,695万円

1944年の10・10空襲や沖縄戦等により、那覇市は赤瓦の屋根に象徴される街並みなど戦前の情緒ある姿をすべて失いました。王国時代から都市として発展してきた那覇のかつての姿を想起させる媒体として、戦前の写真や絵図を用いて、復元模型を作製し観光都市としての魅力を高めます。

●展示資料「那覇の屏風」複製製作事業 686万円

歴史的な展示資料「那覇」を描いた屏風の複製を作成し、市民県民、観光客等に那覇の歴史・文化・美しさをよりわかりやすく身近に感じていただきます。

●那覇市旧跡・歴史的地名標示事業 750万円

琉球王国時代から都市として発展してきた那覇のかつての姿を想起させる媒体として、戦前の写真や絵図を用いて、その場所場所に説明表示板を設置し、その旧跡・歴史地名標示の内容を盛込んだガイドブックを作製します。

●崎山樋川修復事業 1,382万円

指定文化財(史跡)の崎山樋川は歴史散歩の道「ヒシ川ピラマ－い」に入っており、スーゾーグワ－観光のポイントとして活用するため、石積を改修し保存を図ります。

●銘苅墓跡群環境整備事業 458万円

銘苅墓跡群は平成19年7月26日付で国指定史跡となりました。一般公開に向けて史跡の保存処理や環境整備を行う必要があるため、平成25年度は環境整備の具体的方法等について、専門家による検討委員会を開催します。

●伊江殿内庭園保存整備事業 609万円

国指定名勝「伊江殿内庭園」は国王や冊封使の接待・交流の場として使用された歴史的庭園です。岩山を利用して築造された庭、水槽からカスケード式に大小の池に流れる水、岩面に文字を陽刻した庭石等の保存を図り、今後の公開・活用に向けた整備を行います。

主要事業 5 人も、まちも活きいき、美ら島の観光交流都市

わが国の国際的な南の玄関口として、広域的な交流・交易の拠点機能を高め、多彩な人材と多様な産業を生み出すとともに、地場産業の振興を図り、人も、まちも活力ある美しい島々の拠点、観光交流都市をめざします。

産業の振興

【商工農水課】

● 那覇市伝統工芸ブランド確立事業 3,191万円

那覇市の伝統工芸品を観光資源として活用するため、その品質・伝統・個性等を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、世界水準のリゾート地の形成を目指し、経済の振興に寄与します。

● クルーズ客船ターミナル等における伝統工芸PR事業 2,500万円

那覇市の伝統工芸品の品質・伝統・個性等を、来沖する外国人観光客にPRし認知度を高め販路を拡大する事を目的に、若狭バース等の工芸品展示スペースに那覇市の伝統工芸品を展示します。

● 企業誘致促進優良オフィス認定広報事業 210万円

那覇市で事業展開を検討している県外等の企業に対し、最新で信頼でき詳細な賃貸事務所等情報を提供し、企業の誘致を促進します。

● 離島支援連携事業 4,525万円

泊港と船舶航路で結ばれた那覇市と離島5町村(座間味村・渡嘉敷村・粟国村・渡名喜村・久米島町)の新たな地域連携事業として、那覇市民の住民福祉の向上に寄与しつつ5離島を振興支援する事業を実施します。那覇市民が海上交通を利用して離島5町村に渡り、観光、村民との交流、豊かな海や自然とふれあう自然学習等に要する渡航費の「海上交通費」「宿泊費」を公費助成します。

● 中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業 3,385万円

市内の中小企業者の新規開発した商品・サービスを県外・海外に販路拡大する経費の一部を助成し、市内の事業者が、県外・海外にて商品・サービスを販売することにより、利益と雇用の増を支援します。

【商工農水課】

● 市魚マグロ等水産物流通支援事業 1,000万円

沖縄県は全国有数のマグロの産地であり、その中で本市は約半数の漁獲量を誇っているが、知名度は高くない状況です。平成22年度に市の魚「マグロ」を制定し周知活動を行っているが、さらに強く周知活動を行い、水産都市那覇のイメージアップに繋げていきます。

● ワッター野菜がジョートーサー事業 384万円

戦争により失われた伝統野菜である鏡水大根の復活及び普及活動を促進し、生産を復活させ量販店や市場への出荷を促進し、伝統野菜としての認知度向上を図ります。また、ハーブやチンゲン菜等の地元農家が生産した野菜を使った料理講習会を開催し、伝統野菜や地元野菜の地産地消を推進します。

【観光課】

● プロ野球キャンプ等支援事業 1億1,284万円

プロ野球春季キャンプのためのトレーニング室及び倉庫を建設し、陸上競技場や補助競技場等を整備します。また、東京ドームで「めんそ〜れ沖縄・那覇デー」を開催し、観光誘客を推進します。

● プロ野球キャンプにぎわい創出事業 1,504万円

春季キャンプ来場者に安全に楽しく過ごせる環境を提供することで、来場者の増加及び満足度を向上させ、来場者のリピーター化を促し、観光誘客を図ります。

● 那覇市内観光周遊バス実証実験事業 1億6,800万円

那覇市を訪れる観光客が、市内観光地を効率的に回れるよう那覇市観光協会の「那覇まちま〜い」事業と連携してオリジナルラッピングを施した観光周遊バスの実証実験運行を行います。

● 新たな観光案内所整備事業 6,130万円

観光案内所を国外からの観光客へ対応可能な観光案内所として整備し、観光振興を図ります。

● 音楽活用ナイトエンターテインメント創造事業 2,061万円

米軍占領下時代に、アメリカや日本のカルチャーとの融合により発展を遂げた独自の音楽文化を活用し、那覇観光のナイトメニューの多様化やまちなかの賑わいを創出し、また、音楽を通して那覇の新しい魅力を発信します。

まちの活性化

【なはまちなか振興課】

● 国際通り情報発信大型ビジョン活用事業 3,304万円

本市最大の観光地である国際通りと周辺商店街の継続的な発展と、観光客に優しい観光地づくりを促進するため、国際通りに面するてんぶす前広場に大型ビジョンを整備し、情報発信の強化と中心市街地の回遊性向上に取り組みます。

● 国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」 3,016万円

那覇市内を訪れる入域観光客の利便性の向上及び街の魅力の向上等を図るため、国際通り及び市内の主要な観光スポットに、公衆無線LAN環境を整備し、情報発信の強化と中心市街地への滞留時間や回遊性の向上へ向けた取り組みをモデル的に実施します。

● 牧志駅前交通広場等にぎわい事業 2,723万円

国際通り及び周辺通り会への集客を図るため、周辺商店街及び通り会と連携し、さいおんスクエアビル前の広場を拠点に月に土・日4日程度の集客力のあるイベントを開催します。

● 国際通りとマチグーのにぎわい事業 4,586万円

国際通り及び周辺通りへの集客を図るため、周辺商店街及び通り会と連携し、平和通りの牧志公設市場衣料部2階にある「ひやみかちマチグー館」を拠点に、週5回程度の集客力のあるイベントを開催します。

● 震災等緊急雇用対応事業(ひやみかちマチグー館にぎわい事業) 1,873万円

国際通り及び周辺通り会への集客を図るため、周辺商店街及び通り会と連携し、平和通りの牧志公設市場雑貨部2階にある「なは商人塾」及び衣料部2階にある「ひやみかちマチグー館」を拠点に、週4日程度の集客力のある市民講座等を開催します。

就労支援・相談体制

【商工農水課】

● 重点分野雇用創出事業(IT産業の多様なニーズに対応する人材育成事業) 2億1,825万円

IT業界における雇用のミスマッチの解消や適材適職による継続雇用を目指します。

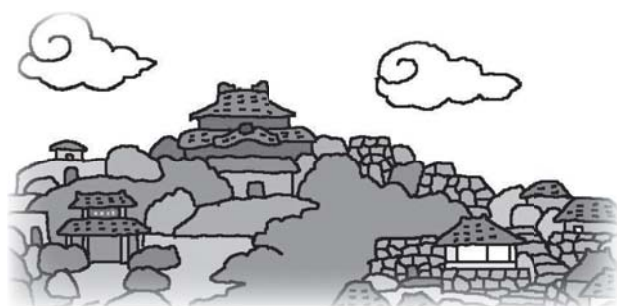
● なはし就職なんでも相談センター運営事業 1,170万円

求職者に対する就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行い、求職者を就職へ結びつけます。

【市街地整備課】

● 農連市場相対売り継承調査事業 405万円

戦後から那覇市の中心市街地活性化に大きな役割を担い続けてきた地区の一つである農連市場地区で見られる「相対売り(マチグー独特の売買形式)」等の歴史的・文化的特徴を生かした商業形態を継承し、商業の活性化を図るために必要な調査等の事業を推進します。



主要事業 ⑥ 安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市

都市基盤や都市景観が、亜熱帯特有の自然や歴史、文化環境に調和した緑ゆたかな庭園のようなまちを築いていきます。誰もが安心して、楽しく歩くことのできる、魅力的で愛着のあるまちを市民とともに創っていきます。

都市防災と防犯

【市民生活安全課】

●保安灯設置等事業補助金 2,116万円

保安灯の設置及び維持を行う団体に対し、補助金を交付します。新設・修繕については1団体につき5灯以内とし、LED型は1灯5万円以内、その他は1灯3万円以内を補助します。また、保安灯の電気料を算定基礎とした団体活性化事業として、LED型は1灯月額140円、その他は1灯月額200円を補助します。

【教育委員会 施設課】

●小・中学校防災避難施設整備事業(校舎屋上) 4,876万円

海拔の低い地域にある学校施設において、津波発生時に緊急避難施設としての機能を持たせるため、学校校舎の屋上(3階以上)に手すりを設置し、緊急避難施設として整備を行います。

●学校施設耐震化事業(小・中学校) 9,135万円

校舎等の構造耐震指標を把握するため、耐震診断を実施します。

【建築指導課】

●那覇市民間住宅耐震化促進事業 2,511万円

住宅の耐震化(耐震診断、耐震改修設計、耐震改修工事)を行う民間事業者に対し、費用負担を軽減するため補助金を交付し、耐震改修への意欲を高めます。また、補助金交付事業と併せて、耐震改修の必要性について啓発し、希薄と思われる地震への危機意識を推進します。

【消防本部 総務課】

●消防庁舎整備事業 3億1,028万円

那覇市消防力整備計画(消防署所の適正配置計画編)にもとづき、那覇市樋川2丁目に消防庁舎用地を取得し、消防庁舎(仮称:樋川出張所)を建設します。

【消防本部 救急課】

●救命講座普及啓発推進事業 774万円

応急手当講習体制の充実のため、普通救命講習、上級救命講習、応急手当普及員講習及び救命入門コースを開催します。

市街地の整備

【市街地整備課】

●農連市場地区市街地再開発事業(防災街区整備事業) 2億1,866万円

商活動の衰退や防災上の危険性の問題解決を図るため、衣食住遊が融合し、にぎわいと交流が生まれるマチグラー空間の再生を行います。

【建設企画課】

「那覇市市営住宅ストック総合活用計画」にもとづき、老朽化の著しい市営住宅の建替えを行います。

●久場川市営住宅建替事業 2億8,671万円

●石嶺市営住宅建替事業 8億1,656万円

●宇栄原市営住宅建替事業 15億2,550万円

●大名市営住宅建替事業 17億9,462万円

【区画整理課】

●真嘉比古島第二土地区画整理事業 4,962万円

真嘉比・古島地域の土地区画整理事業の平成25年度完成に向けて、換地処分業務を行います。

●那覇市戦災復興の歩み事業 600万円

真嘉比・古島地域の土地区画整理事業の平成25年度完成に向けて、那覇市の土地区画整理事業の歴史と概要等をまとめたパンフレットと真嘉比古島地区の記念誌を作成します。

【建築指導課】

●狭あい道路整備事業 256万円

狭あい道路の拡幅整備を促進するため、舗装整備等への助成金等を交付し、安全で快適なまちづくりを推進します。

交通体系の整備

【道路建設課】

●街路整備事業(公共投資交付金) 27億8,850万円

交通渋滞の緩和、交通安全の確保、交通アクセスの利便性、歩行空間のバリアフリー化等を図るため、都市計画道路(石嶺線外8路線)において、道路改良、用地買収及び物件補償等を行います。

●沖縄都市モノレール延長事業 2億8,203万円

沖縄都市モノレールの延長事業において沖縄県へ業務委託し、都市計画道路石嶺線のモノレールインフラ部整備(設計業務、RC橋脚工事)を行います。

●歴史散歩道整備事業 2億4,970万円

市民等が那覇の歴史に触れながら観光地等を快適に散策できるよう、道路(しんかぬちゃーまーい等)の美化・緑化等、歴史的景観に配慮した道路整備(設計業務、改良工事)を行います。

●橋りょう長寿命化修繕事業 1億2,500万円

本市が管理する橋りょうについて、効率的・効果的な予防保全を図るため、「那覇市橋梁長寿命化計画」に基づき、老朽化の著しい橋りょう(松川高架橋外6箇所)を優先して修繕します。

【都市計画課】

●総合公共交通の推進事業 1,765万円

モノレールと並ぶ公共交通の軸として那覇市交通基本計画に位置づける「モデル性の高い基幹的公共交通」の段階的導入に向けた実証実験とバス停上屋の整備を行い、公共交通の利便性向上と交通の円滑化を図ります。

●戦略的交通まちづくり推進事業 1,350万円

車に頼り過ぎない暮らしを市民に社会啓発するイベント「なはモビリティウィーク&カーフリーデー」の実施と、市道泉崎7号に二輪車駐車を設置し効果を検証する実証実験を行い二輪車利用環境の向上を図ります。



自然と調和したまちなみ

【花とみどり課】

●公園整備事業(沖縄振興公共投資交付金) 12億9,596万円

(社会資本整備総合交付金) 3億3,153万円

公園整備事業の促進を図ることにより、地域住民に良好な都市環境を提供します。久場川公園外19公園の都市公園整備を行います。

●市花木等普及推進事業(公共空間への植樹) 2,000万円

公共空間の緑化により、自然を感じられるまちをつくるため、那覇市の市花木であるホウオウボク、フクギ、ブーゲンビリアの植栽を普及推進します。

●桜の名所づくり事業 1,200万円

公園等を「桜の名所」として整備するため、桜の植樹等を行います。



【都市計画課】

●景観まちづくり推進事業 2,089万円

首里大中町及び首里三箇(首里崎山町、首里赤田町、首里鳥堀町)において、景観形成(案)などの策定に向け、地域住民とのワークショップ等を開催します。また、那覇市全域における屋外広告物の適正化に向けた計画策定を行います。

【公園管理課】

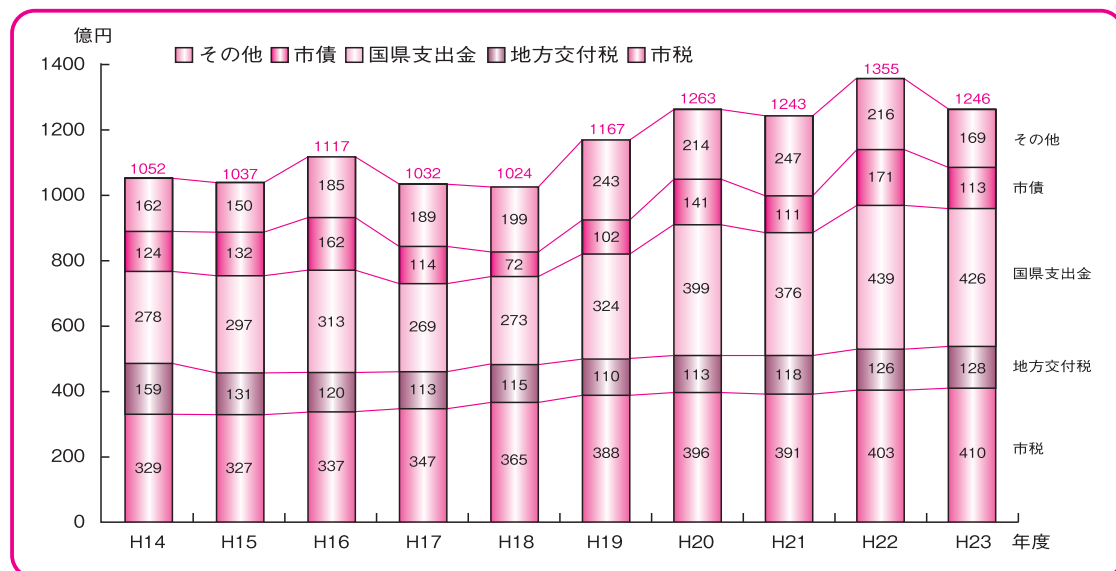
●亜熱帯庭園都市の公園美化事業 1億3,600万円

外国人を始めとする多様な観光客等を迎えるため、公園の公共空間において沖縄らしい魅力的な観光地づくりを行います。



◆那覇市の平成14年度以降の普通会計の科目別収入の推移

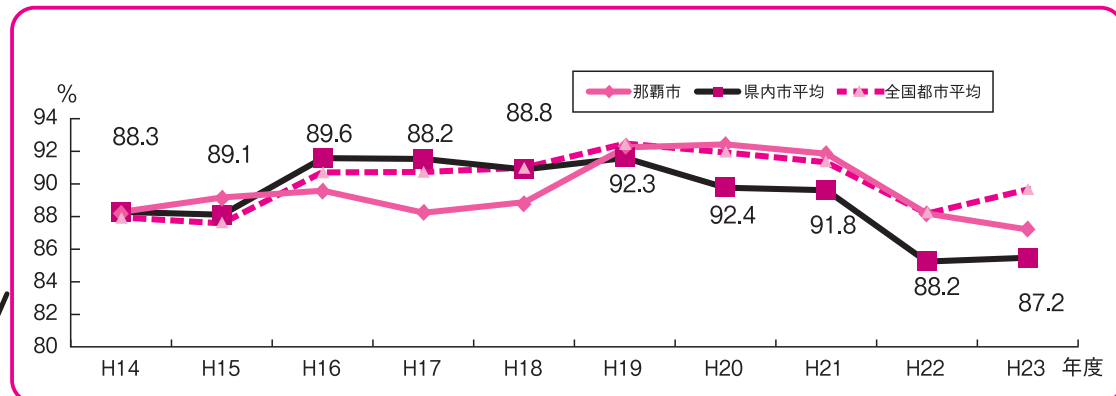
平成14年度と平成23年度を比較すると市税については、新都心地区の開発や税源移譲等が要因となって、約81億円増加しておりますが、地方交付税については、約31億円減少しています。また、国県支出金の占める割合が概ね3割を占めています。



【経常収支比率】

経常収支比率は、市税・地方交付税などの経常的な一般財源収入が、人件費・扶助費・公債費などの経常的に支出される経費に、どれだけ充てられているかを示した指標です。その団体の財政構造の弾力性を判断するものです。この比率が高いほど一般財源のほとんどが経常的な経費に費やされるため、用途の自由度がなくなり、市民の新しいニーズへの対応や投資的経費に充てる財源が少ない状態であることを示しています。一般的に経常収支比率は70～80%が望ましいとされています。

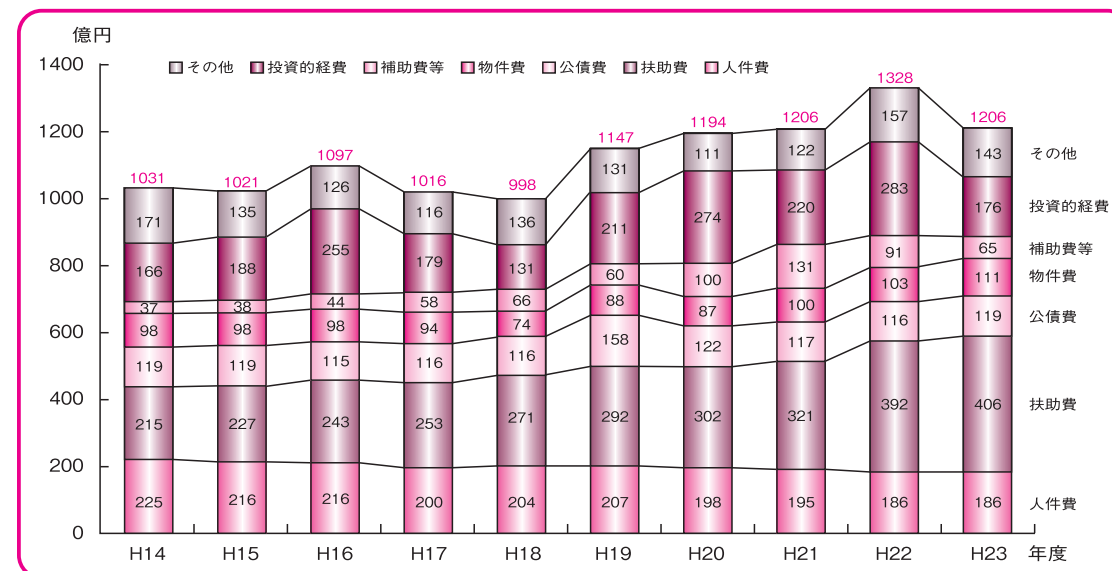
◆那覇市、県内市平均、全国都市平均の推移



平成10年度以降90%未満で推移していた経常収支比率が、平成19年度～平成21年度は90%を超え財政の硬直状況が見られました。しかし、平成22年度は経常的支出の増加率よりも経常的収入の増加率が大きかったため、再び経常収支比率が90%を下回り改善しています。

◆歳出の性質別推移を見たのが次のグラフです。

人件費、扶助費及び公債費の義務的経費の占める割合は、平成23年度で59.0%と全支出の約5割を占めています。人件費は平成14年度と平成23年度を比較すると職員定数の見直しなどにより39億円減少しています。一方扶助費においては、増加傾向で推移しており、平成14年度と平成23年度を比較すると、実に191億円も増えています。

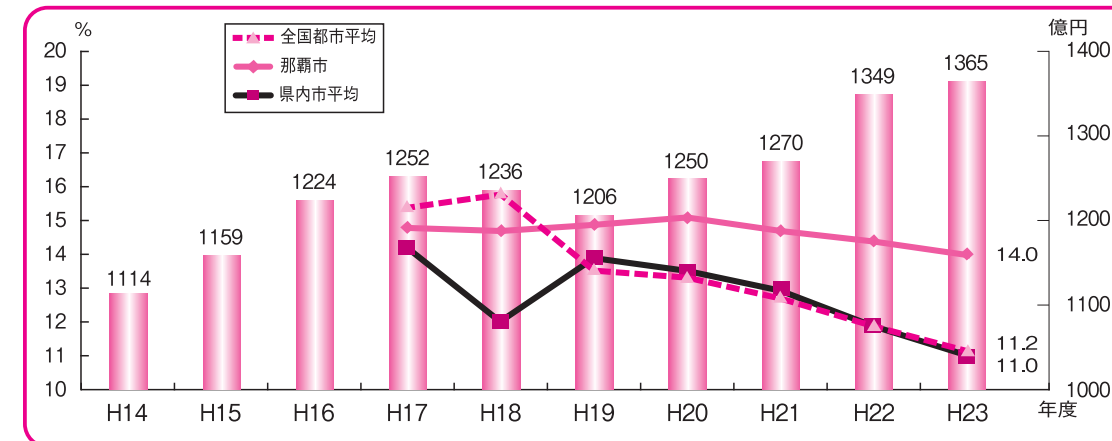


【実質公債費比率】

地方債を借り入れた際、毎年度元金の返済及び利子の支払いが必要となります。これに要する経費の総額を公債費といいます。この公債費と公営企業の公債費への一般会計繰出金の一般財源に占める割合を実質公債費比率といい、この比率が25%を超す団体は地方債を借り入れることが制限されます。

※実質公債費比率は、財政健全度を表す新たな指標として平成17年度から導入されました。

◆那覇市、県内市平均、全国都市平均の実質公債費比率及び那覇市の市債残高の推移



那覇市の実質公債費比率は、全国都市平均及び県内市平均と比較すると、依然として高めに推移しています。これは、未買収道路用地取得や学校借用校地購入等の特殊な事情により、借入額がかさみ、数値が高くなる一因となっています。

全国や
沖縄県内の
他の市とも
比べてみました



なるほど
なのニャ!





地方行政とともに地域社会に貢献する

沖縄行政システム株式会社

沖縄行政システム株式会社



那覇空港ビルディング株式会社

代表取締役社長 花城 順孝



ながいおつきあい

りゅうぎん

琉球銀行

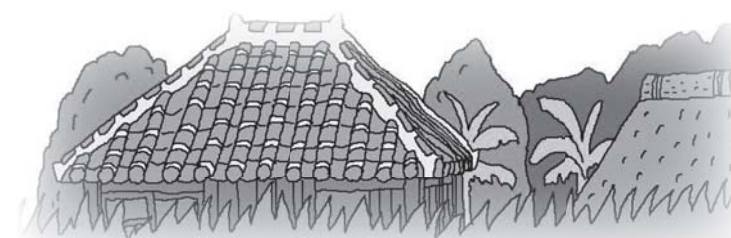
ようこそ パレットスカイガーデンへ



パレットくもじ

久茂地都市開発株式会社

ホームページ <http://www.palette-kumoji.co.jp>





本冊子についてのご意見をお待ちしております。

平成 25 年度 **なはしのよさんのはなし**
平成25年7月／発行：那覇市企画財務部財政課
〒900-8585 那覇市泉崎 1-1-1
TEL 098-862-9938 FAX 098-862-4268
